

【趣旨】

- 従前の産学官連携功労者表彰を衣替えし、科学技術・イノベーションの社会実装の取組として**オープンイノベーションの手法を効果的に実施する企業・団体・大学等を表彰**。

産学官連携功労者表彰 (旧表彰)

日本オープンイノベーション大賞 (新表彰)

産学官連携の取組



産学官連携を含む
オープンイノベーションの取組

これまで対象外だった産産連携や
ユーザー参画型等にも範囲を拡大

➔ **オープンイノベーションをさらに普及させ、
我が国の科学技術イノベーション創出を加速**

【表彰の対象】

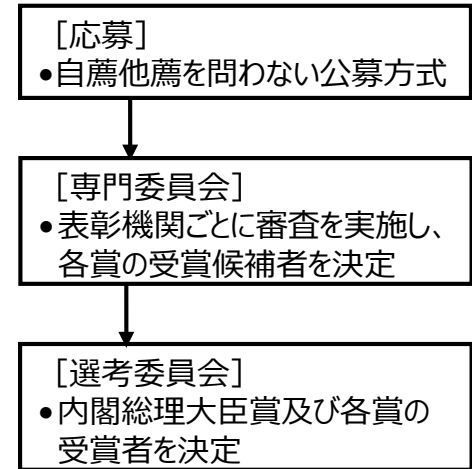
- オープンイノベーションの取組で、**模範となるようなもの、社会インパクトの大きいもの、持続可能性のあるもの**を表彰。
- ロールモデルとして関係機関が連携して**積極的な水平展開を推進**。

【表彰の種類】

- 政府各省の担当分野ごとに大臣表彰をするとともに、経済団体、学術団体の会長賞の表彰を実施。各賞の中で最も優れたものを内閣総理大臣賞として表彰。

内閣総理大臣賞
科学技術政策担当大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、
経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、日本経済団体連合会会長賞、
日本学術会議会長賞、選考委員会特別賞

【選考プロセス】



審査項目

審査内容

【連携の目的】 社会的ニーズ等への貢献	➤ 現在の社会的ニーズや課題の解決等への貢献、将来の社会や産業の在り方に革新を起こす可能性
【連携の内容】 先導性・独創性	➤ イノベーションを創出するための連携の体制づくり、拠点の構築、プロジェクトの進捗や知財のマネジメント、参画機関・参画者のコミュニケーション等における先導性や独創性
【連携の効果】 客観的な効果と持続可能性	➤ 連携の取組の効果が上がっているか、効果が上がる見込みがあるか、連携の実施において公的資金に過度に依存していないか、 ➤ 持続的かつ自立的な連携か 等